

きらめき朝日

令和3年1月12日号

校長 原田 正明

コロナ禍&大雪での3学期スタート

1年間まとめの3学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って1都3県に緊急事態宣言が出され、また、年末からの断続的な降雪で、例年になく大雪となった中でのスタートとなりました。このような状況ですので、最優先すべきことは、「命を守ること」です。感染予防をしっかりと行い、感染しないように気をつけていくことや注意を払って安全に登下校し、事故などに遭わないようにしていきましょう。



間隔をあけ、マスクを着けてのバスケットボールの授業

学校においても、文部科学省や県教育委員会の指導に基づき、換気や消毒などしっかりと対策をとった上で授業を行うとともに、部活動においては当面の間、対外試合・大会参加は行わないことにしています。ただし、状況が今以上に悪くなった場合には、学校行事等も含めかなりの制限が予想されます。何とかこれ以上悪くならないように、一人ひとりが意識をして感染予防をしていきたいものです。

大雪についても、かなりの積雪のために道路幅が狭く、雪の壁が高くなって見通しが悪くなっていたり、屋根からの落雪の危険性が高まっていたりします。危険を予測しながら、事故なく安全に登下校していきましょう。

3学期は46日の登校日数になりますが、まずは元気に登校し、前向きに学校生活を送っていきましょう。

保護者の皆様へのお願い

現在の状況においては、いつ誰が新型コロナウイルスに感染しても不思議ではありません。今後とも、感染予防の取り組みへのご協力をお願いします。

(1) これまで通り、毎朝の検温と健康観察に加え、夕食前も検温と健康観察をお願いします。発熱や風邪の症状がある場合は、無理をせずに学校を休ませてください。その場合には出席停止となります。

(2) 手洗い、うがい、マスクの着用についてご指導をお願いします。

(3) 次の場合には、すぐに学校まで連絡をお願いします。

① お子さんの感染が疑われた場合

② お子さんが濃厚接触者にあたりと特定された場合

③ お子さんが保健所・医師等からPCR検査の受検対象者と判断された場合

④ 児童生徒の同居している家族等が、感染者の濃厚接触者にあたりと特定された場合またはPCR検査の受検対象者と判断された場合

①～④のケース以外であっても、何か不安なことなどありましたら、速やかに学校へ連絡をお願いします。お手数をおかけしますがよろしくをお願いします。

「自らの生き方、将来を考える力」を意識する3学期

3学期始業式にあたり、校長講話で「朝日中生を幸せにする7つの力」のうち「自らの生き方、将来を考える力」を意識してこの3学期は活動してほしいことを伝えました。もちろん、3年生は新たなステージに向け、高校入試などもあるので当然なのですが、1・2年生についてもぜひ、自分の生き方や将来を考える時間をとってほしいと思っています。



2年キャリア面談の様子

実際、2年生は2学期から引き続き校長によるキャリア面談、高校調べ、1年生は保護者の方を招いての職業講話や職業調べなどキャリアに関する学習を行います。自分の将来について考え、夢や目標を持つことで学習等に向かう姿勢も違ってきます。目標を持ち、その実現に向けて努力できるようにするためにも、自分を見つめ、自らの生き方をこの機会にしっかりと考えてほしいと思います。



鈴木学年委員長さんより代表が合格鉛筆等をいただきました

進路激励会(3年PTA)

いよいよ今週末からの私立高校の推薦入試を皮切りに、本格的に高校入試がスタートします。それを前に、1月7日(木)に3学年PTAによる進路激励会が行われました。

鈴木学年委員長さんからお札と、一人ひとりに合格鉛筆と合格力餅をいただきました。生徒代表の決意表明もあり、受験に向かう雰囲気になってきました。ぜひ、最後まであきらめことなく、全力で希望進路を実現してほしいと思います。



生徒会によるペットボトルキャップ贈呈

昨年行われた2回のアルミ缶回収と一緒にペットボトルキャップも回収しましたが、12月25日(金)に山形銀行宮宿支店に寄贈してきました。生徒会役員の方の最初の仕事として、回収した大量のペットボトルキャップを袋詰めして、持っていきました。右下の写真のように軽トラックの荷台が一杯になるほどのキャップ(総重量489.6kg)が集まりました。ご協力に感謝申し上げます。

寄贈したペットボトルキャップは、ポリオワクチンとして開発途上国の子どもたちに提供されることとなります。

これからもアルミ缶及びペットボトルキャップ回収へのご協力をよろしくお願いします。

